

「生活のための日本語：全国調査」結果報告 ＜速報版＞

2009年5月20日刊行

独立行政法人 国立国語研究所
日本語教育基盤情報センター
学習項目グループ・評価基準グループ

国立国語研究所日本語教育基盤情報センターでは、2006年より、日本語を母語としない外国人が日本社会の一員として地域社会に根付き、職場や学校等で活躍するために必要な日本語能力（生活のための日本語）とその育成方法に関する研究を進めてきました。

「生活のための日本語」を明らかにするためには、日本に在住する外国人がどのような場面で日本語に接しているのか、また、どのような日本語学習のニーズがあるのかについて広く情報収集し、実態を把握する必要があります。その一環として、当研究グループは、2008年10～12月にかけて、外国人と日本人のそれぞれを対象に、全国規模のアンケート調査を実施しました。

＜調査の概要＞

(1) 外国人対象

- ・全国20地域
- ・20歳以上対象
- ・国際交流協会や日本語教育関係者を介した配布。
- ・個別郵送による回収と、調査協力者による回収。
- ・回収数 1,662（各地域で50部以上を配布）
- ・質問紙の内容

1) 14場面（及びテーマ）105項目の言語行動について：接触頻度（言語を問わない）、日本語による行動の可否、学習ニーズの有無。

2) 日本語使用及び学習における問題点

3) 属性

- ・質問紙の言語：日本語、中国語、ポルトガル語、英語、スペイン語等13言語。

(2) 日本人対象

- ・全国200地点
- ・満20～79歳対象
- ・層化二段無作為抽出
- ・郵送法
- ・回収数 1,176（配布数：5,000）
- ・質問紙の内容

1) 9場面（及びテーマ）34項目の言語行動について：接触頻度（言語を問わない）、日本語使用の有無、日本語で行う場合の困難度。

2) 外国人と日本語を使ってコミュニケーションする際の工夫

3) 属性

- ・質問紙の言語：日本語

本冊子は、調査結果の概要を広く迅速にお知らせするためのものです。より詳しい集計・分析結果は、2009年度中に刊行の予定です。また、本冊子は当研究所の以下のウェブサイトに掲載し、翻訳版も随時、掲載します。 http://www.kokken.go.jp/katsudo/seika/nihongo_syllabus/research/

＊本調査は科学研究費（20320074）の助成を受けています。

＜問い合わせ先＞

〒190-8561 東京都立川市緑町10-2

独立行政法人国立国語研究所 日本語教育基盤情報センター
学習項目グループ・評価基準グループ

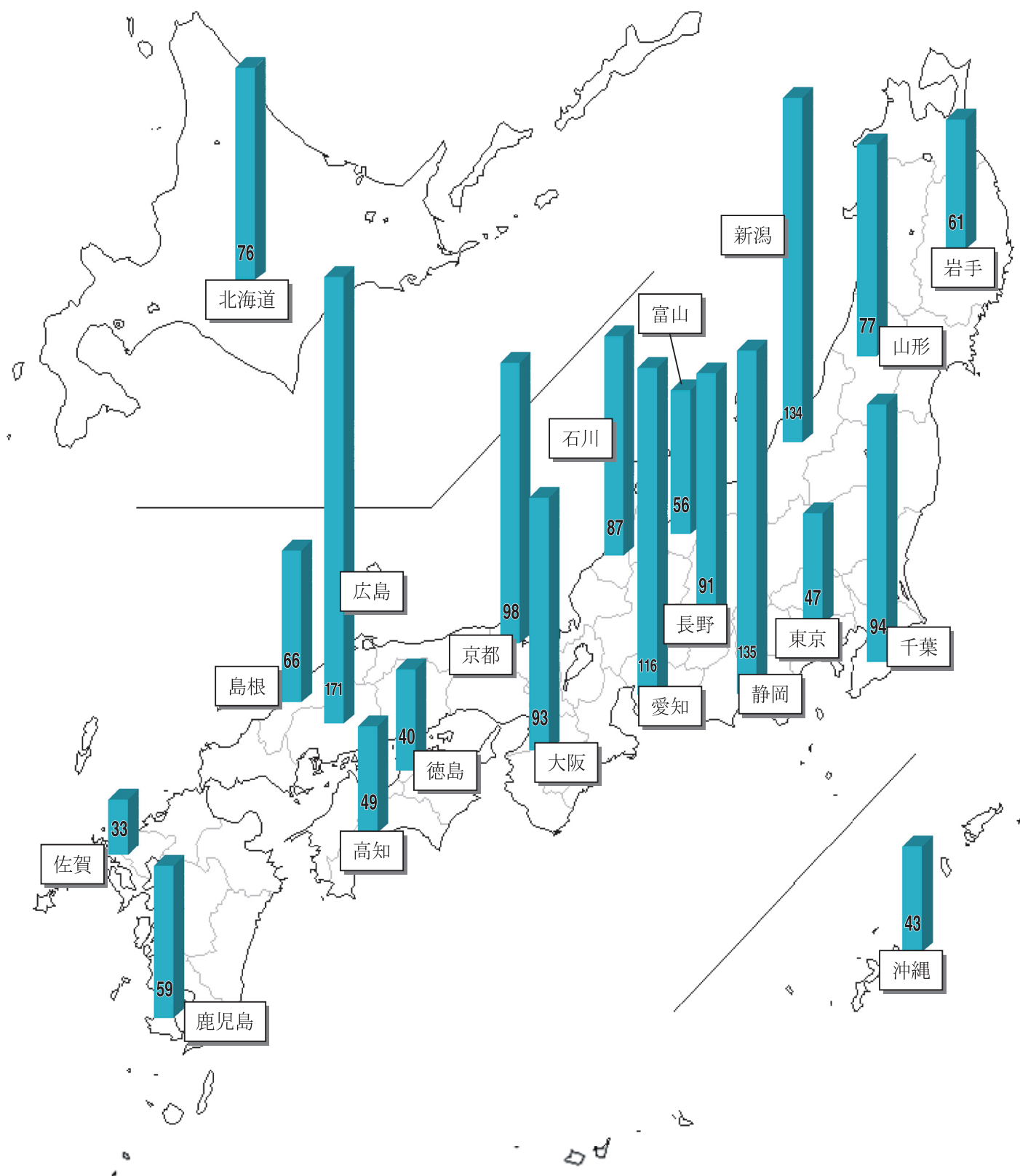
電話：042-540-4300（代表） FAX：042-540-4333（代表）

外国人調査：結果概要

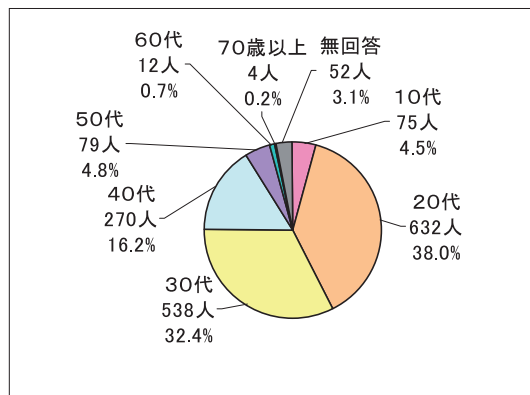
1. 回答者について

1.1. 回答者の居住地（質問紙の配布地域）

* 数字は、各地域での質問紙回収数。

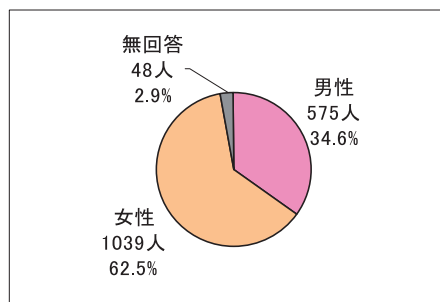


1.2. 年齢



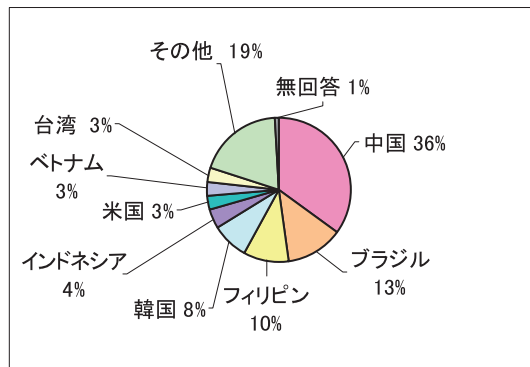
20代と30代が全体の70%を占めており、比較的若い年齢層に偏っている。本調査は調査対象を20歳以上としているが、配布の際に年齢を確認したうえで依頼するということは困難なため、回答者の中に10代がいる。50代以上の中年・老年層が少ないのは、日本在住の外国人にそもそもその世代が少ないということを反映している。同時に、地域の日本語教室や国際交流協会を通じて、質問紙を配布しているため、これらの場に、彼らがあまり来ないという可能性もある。

1.3. 性別



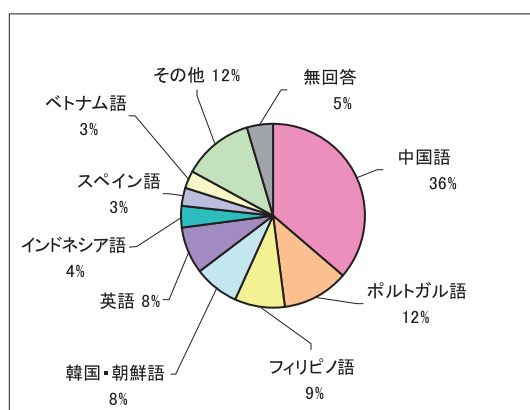
女性が62.5%と大きな偏りが生じた。平成19年末における外国人登録者数は、男性1,002,037人、女性1,150,936人で女性の占める比率は約53.5%である。女性の方が比率が高いという点では共通しているが、今回の調査では、女性比率が実際以上に高くなっていると言える。これは調査時に意図したものではなく、その原因も推測できていないが、日本語教室等参加者の男女比率に偏りがある可能性もある。

1.4. 国籍



中国が36%と最も多くの割合を占めた。続いてブラジル、フィリピン、韓国、インドネシアである。平成19年末における外国人登録者数でも、中国が最も多く28.2%となっており、続いて韓国27.6%、ブラジル14.7%、フィリピン9.4%、ペルー2.8%と続く。外国人登録者数でも、中国・韓国・ブラジル・フィリピンまでの割合が大きく、順位は入れ替わっているが、今回の調査でも同様の傾向が見られる。

1.5. 母語(最もよくできる言葉)



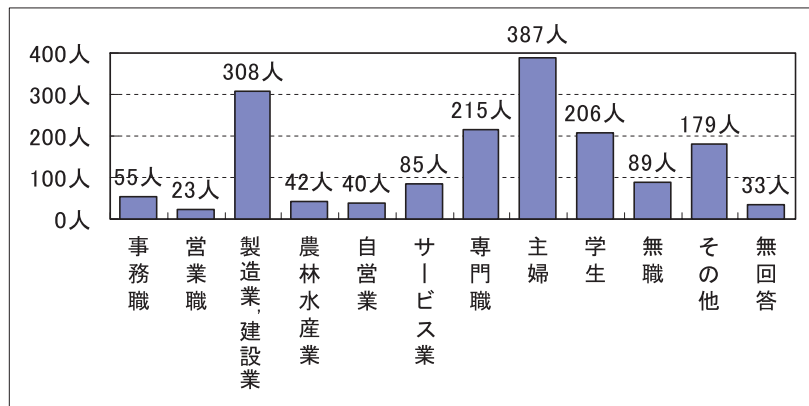
「母語」には複数の定義があるが、今回は「最もよくできる言葉」として自己申告してもらった。中国語が36%、ポルトガル語が12%、フィリピン語が9%、韓国・朝鮮語が8%と、国籍と同じような比率を示しているが、韓国・朝鮮語に次いで英語の比率が高くなるのがわかる。また、質問の意味がわかりにくかったか、あるいは、自己申告であるためか、無回答の比率が高い。

1.6. 日常生活に困らない言語 ＊主なもの(複数回答可)

	言語	人数 (%)
1	日本語	1026 (61.7%)
2	英語	601 (36.2%)
3	スペイン語	47 (2.8%)
4	ポルトガル語	42 (2.5%)
5	中国語	28 (1.7%)

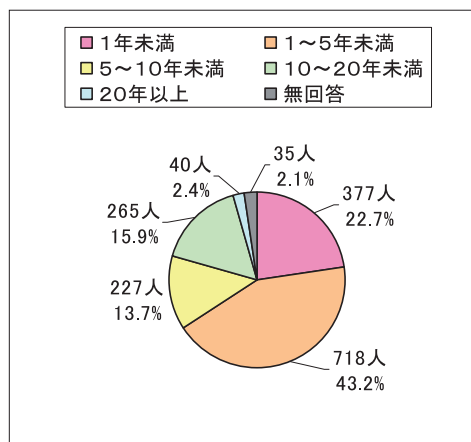
日常生活に困らない言語についても、自己申告かつ複数回答可という形で答えてもらった。日本語の割合が61.7%と高いが、これについては二つの点に注意する必要がある。一つ目は、日常生活に困らない言語として日本語を挙げない人が38.3%いるということである。二つ目はこの調査の回答者の多くは、日本語教室や国際交流協会などに来る人々であり、日本語を学ぼう、他の人々と交流しようという意志が強いことが想定されることであり、こういった場に来ない人々の傾向とは異なる可能性がある。

1.7. 職業



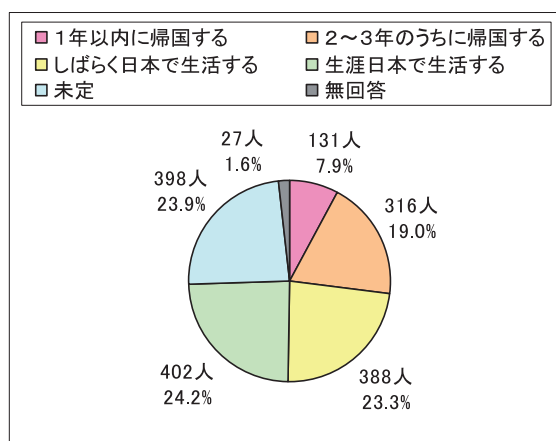
主婦の割合が高く、次いで製造業・建設業となっている。今回の配布方式では、地域の日本語教室に通う人々が多く対象となっているため、現実の生活者としての外国人に比べると偏りが生じているということには留意すべきである。

1.8. 調査時までの滞日期間



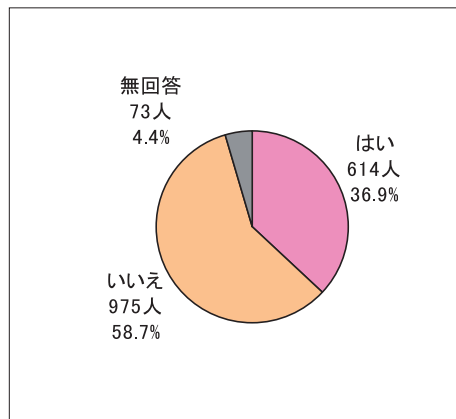
滞日期間については、1～5年未満が43.2%と最も多く、次いで1年未満が22.7%と多くなっている。一方で長期滞在の人ほど割合が少なくなっている。繰り返しになるが、日本語教室に通う必要がないような長期滞在者からは十分なデータが集まっていないということには留意すべきである。一方、滞日期間10～20年未満の人が265人、20年以上の人が40人いるため、こうした長期滞在者の人々のニーズなどを特化して取りあげるといった分析も可能であり、今後の課題である。

1.9. 今後の滞日予定期間



滞日予定期間については、「1年以内に帰国する」以外は、それぞれの項目にほぼ均等に回答が分かれた。また、「1年以内に帰国する」及び「2～3年のうちに帰国する」は合わせて26.9%に過ぎず、長期滞在を希望する人が多いことがわかる。滞在が一時的なものではなく、長期となることを想定し、日本社会で生活していく上で必要な日本語やその他の社会的なサポートが求められる。

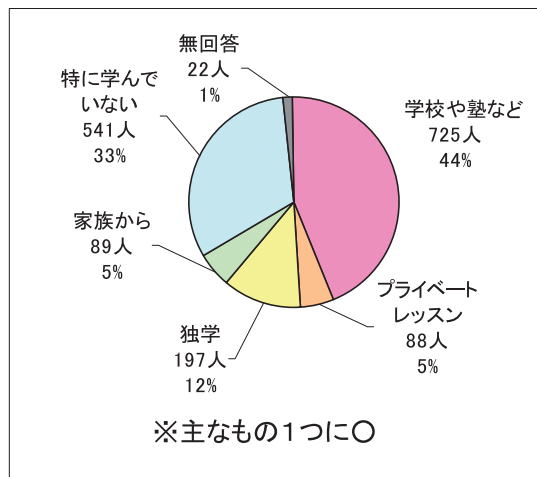
1.10. 子どもの有無



15歳以下の子どもがいる人が36.9%であり、全体の3分の1を超える割合となっている。「1.9 今後の滞日予定期間」で見たように、長期滞在を希望する人が多いことを考えると、今後、年少者のための日本語教育や、継承語教育などの重要性がますます必要となると思われる。

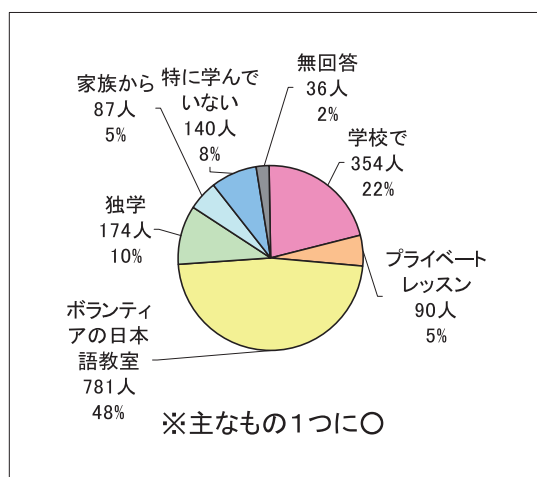
2. 回答者の日本語学習方法

2.1 母国で



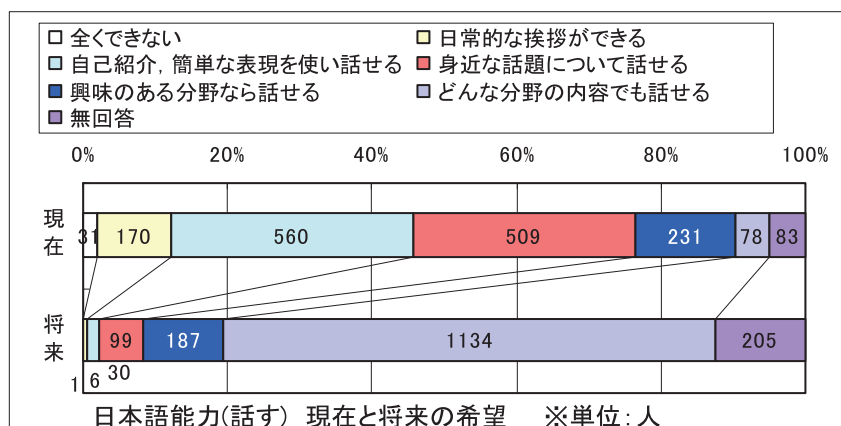
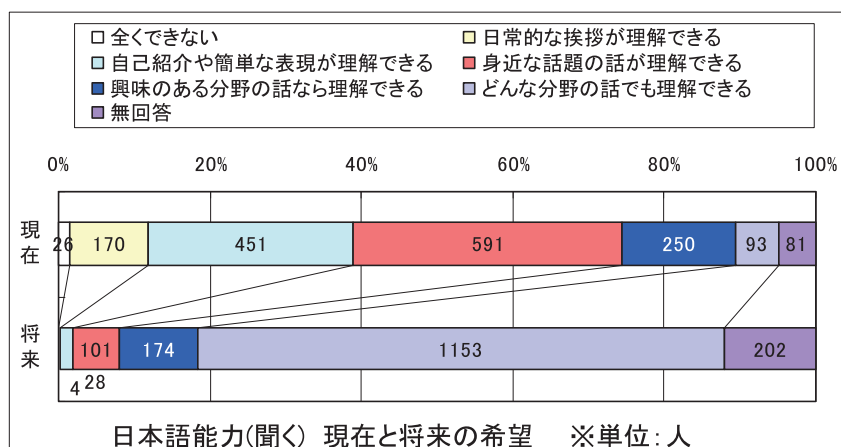
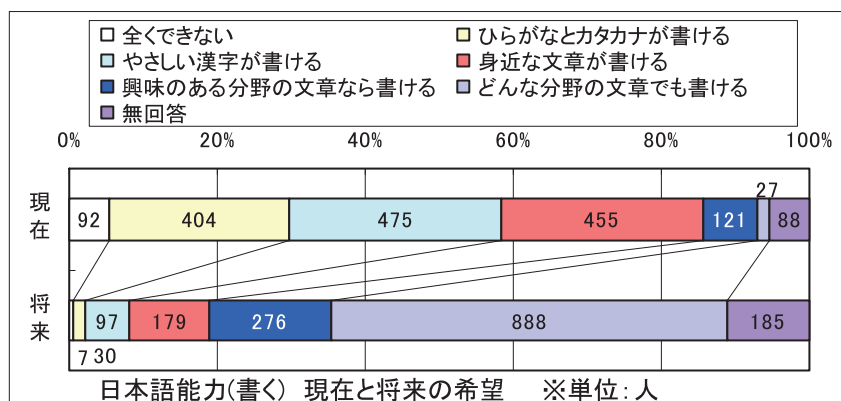
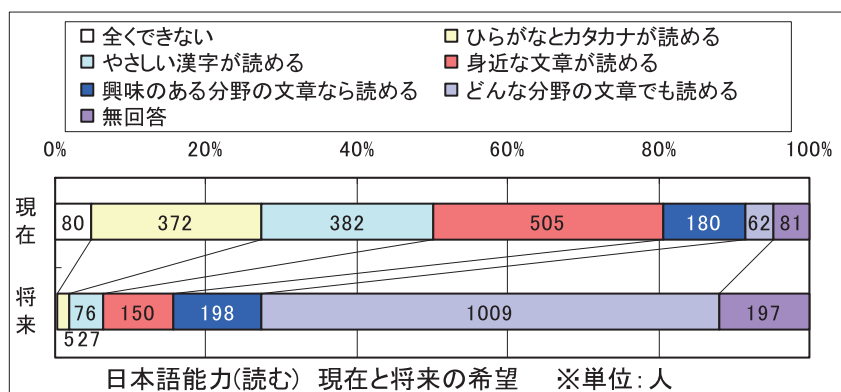
母国での学習経験及び学習方法をたずねた。「学校や塾などの機関で学んでいた」が最も多く、44%を占めた。全体で7割近くの人が、何らかの方法で学んでいたことがわかる。今回の回答者には、就労を目的にしている人が少なくなく、彼らが来日前にどの程度日本語を学んでいるかについては、これまであまり情報がなかったが、今回の調査で、なんらかの学習をしている可能性があること、学校や塾などで組織的・体系的に学習をしている人も少なくないことがわかった。その反面、「特に学んでいなかった」が33%いることにも留意する必要がある。

2.2 日本で



「ボランティアの日本語教室で学ぶ」という人々が最も多く、48%を占めているが、配布方式の影響を考慮する必要がある。また、「2.1 母国で」とは異なり、「特に学んでいない」が8%と、割合が低くなっている。しかし、これも、配布方式の影響を無視することはできず、今回の配布の対象とならなかった人々、日本人や社会との接点が少ない人々の状況は不明である。

3. 日本語能力:現在の日本語能力(自己評価)と将来の目標



現在の日本語能力を自己評価で答えてもらい、さらに将来の目標も答えてもらった。

「現在の日本語能力」については、「全くできない」という割合が「読む」「書く」と「聞く」「話す」では差が出ている。「読む」「書く」については、学習・習得の機会を持たないまま過ごしている人が少なくないことが考えられる。また、「身近な文章」、あるいは「身近な話題」以上の能力を持つ人の割合が、「聞く」「話す」では、半数以上を占めているが、「読む」「書く」では、そのレベルに到達していない人のほうが多い。

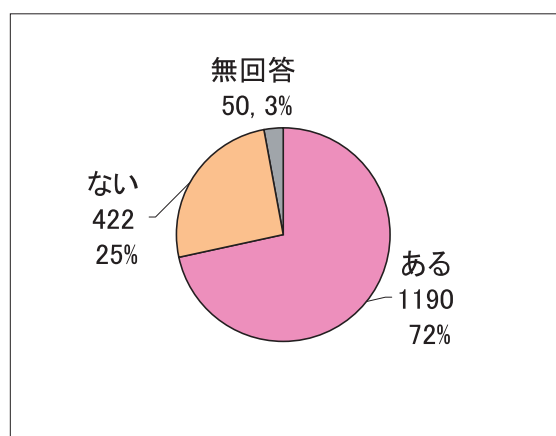
一方、「将来の目標」では、「読む」「書く」「聞く」「話す」のいずれの項目でも、「現在の日本語能力」で多くても2割ほどを占めるに過ぎなかった5段階目(興味のある分野なら)と6段階目(どんな分野でも)の比率が圧倒的に増えている。

「1.9 滞在予定期間」で、長期滞在を希望する人が多いことを述べたが、長期滞在を見越して高度な日本語能力を身につけようとする高い希望があることがわかる。

こうした結果を考えると、生活にすぐに役立つような項目だけを扱う日本語教育で十分かという課題が見えてくる。いずれは高度な日本語能力を身につけたいという希望があることも考慮し、滞在期間や将来設計に応じた対応が求められる。

尚、この「将来の目標」では、無回答の割合が2倍以上になっている。これは、「現在」の項目に答えた場合は、「将来」の項目には答えなくてよい、などといった、回答方法の誤解があった可能性が高い。

4. 日本語使用, 日本語学習についての悩み, 不満



日本語使用, 日本語学習についての悩み, 不満については, 72%の人が「ある」と答えた。逆に, 25%の人は悩みがないと答えている。「1.6 日常生活に困らない言語」で, 日本語を挙げている人は61.7%であったが, 日常生活に困らない程度に日本語ができていても悩みがある人が多いことがわかる。また, 悩みの有無やその内容については, 現在の日本語能力や滞在年数などとの関連を見る必要がある。

4.1. 日本語使用についての悩み, 不満 (複数回答可)

	日本語力が低い ため不利な ことがある	手助けしてく れる人がい ない	日本語を話 す相手が いない	相手が日本 語を使っ てくれない
回答数 (%)	841 (70.7%)	351 (29.5%)	257 (21.6%)	152 (12.8%)

日本語使用や日本語学習について悩みがある, と答えた人に対し, 「日本語使用」についての悩み, 不満の内容について複数回答で答えてもらった。最も大きな割合を占めているのは「日本語力が低いため不利なことがある」で, 70.7%である。日本語力と, 自身の日本での生活の不利益とを関連付けて考える人が少ないということがわかる。

4.2. 日本語学習についての悩み, 不満 (複数回答可)

	母語で学 べる学校・ 教室がない	都合のいい 場所や時間 に日本語学 校・教室が ない	勉強にあ てる時間 がない	満足でき る授業内 容を提供 する日本 語学校・ 教室が ない	授業料・ 教材が 高い	年齢的に 外国語の 学習が負 担だ	情報を得 る方法が わからない
回答数 (%)	325 (27.3%)	311 (26.1%)	309 (26.0%)	244 (20.5%)	213 (17.9%)	190 (16.0%)	180 (15.1%)

日本語使用や日本語学習について悩みがある, と答えた人に対し, 「日本語学習」についての悩み, 不満について複数回答で答えてもらった。最も大きな割合を占めた「母語で学べる学校・教室がない」でも27.3%と, 回答は分かれた。授業料・教材の高さよりも, 「母語で学べる学校・教室がない」「都合のいい場所や時間に日本語学校・教室がない」「満足できる授業内容を提供する日本語学校・教室がない」など, 学校・教室のカリキュラムや地理的・時間的条件に不満を持つ人のほうが多い。

また, 「勉強にあてて時間がない」が26.0%を占めている。製造業・建設業などで就労している人々にとって, 時間の問題は深刻と言える可能性が高い。「勉強にあてて時間がない」の回答者と職業との関連を調べる必要がある。

5. 日本語使用実態と日本語学習ニーズ

105の言語項目(14場面)について、言語によらず接触頻度の高いもの、日本語でできない人の多いもの、日本語でできるようになりたいと思っている人の多いもの、について上位10位までを挙げる。表中の色分けは、場面の違いを表している。

5.1 回答者全体について

5.1.1 言語によらず、頻度の高い行動

	言語行動	接触頻度	場面
1	60 家族や友人との会話	3.751	9自宅
2	65 テレビやラジオでニュースを見聞きする	3.365	9自宅
3	61 自宅にかかってきた電話に対応する	3.215	9自宅
4	64 家族や友人にパソコンでメールを書く	3.126	9自宅
5	8 場所を探すため、店内の表示を見たり、店員にたずねる	3.078	2買い物
6	63 家族や友人と携帯でメールのやりとり	3.063	9自宅
7	19 駅の券売機で乗車券を買う	2.987	3交通手段
8	4 メニューを読んで注文	2.960	1飲食店
9	11 ポイントカードや割引券の利用	2.898	2買い物
10	67 訪問者への対応	2.839	9自宅

5.1.2. 日本語でできない人が多い行動

	言語行動	日本語でできない人(%)	場面
1	55 介護認定の申請をし、必要な手続きをとる	64.08	7医療・福祉
2	54 役所の福祉課にデイサービス等、介護に関することについて相談する	63.90	7医療・福祉
3	53 年金の申し込みや問い合わせをする	63.00	7医療・福祉
4	101 プレゼンテーションをする	62.09	14職場
5	57 緊急時、保険会社に連絡して相談する	60.95	8緊急事態
6	72 自治会などの集会で意見交換する	60.77	10地域交流
7	32 銀行や郵便局の窓口で定期預金や各種ローンを申し込む	60.71	4金融機関等
8	66 新聞を読む	60.11	9自宅
9	103 取引先や顧客と仕事上のコミュニケーションをする	59.63	14職場
10	89 ハローワーク等でパソコンを使って、適当な職があるか検索する	59.09	13求職

5.1.3. 日本語でできるようになりたい人が多い行動

	言語行動	できるようになりたい人(%)	場面
1	56 火災・救急(119)や警察(110)に電話する	94.32	8緊急事態
2	22 駅の構内やバスの車内アナウンスを理解する	92.31	3交通手段
3	58 災害・事故時に他の人に助けを求める	92.15	8緊急事態
4	50 出された薬に関する説明(種類や効能、飲み方など)を聞く	91.91	7医療・福祉
5	59 テレビやラジオから災害情報を得る	91.53	8緊急事態
6	49 診察のときに、医師や看護師とやりとりをする	91.51	7医療・福祉
7	65 テレビやラジオでニュースを見聞きする	91.45	9自宅
8	27 目的地までの行き方を人に説明する	91.21	3交通手段
9	47 症状に合わせて、適切な病院・医院を探す	90.75	7医療・福祉
10	9 商品の機能や値段を知るために、店頭を表示を読んだり、店員に質問したりする	90.43	2買い物

回答者全体の傾向を見てみると、「言語によらず、頻度の高い行動」は、「自宅」場面のものが多い。また、「買い物」や「交通手段」「飲食店」など、日常生活に関係する身近な項目が上位に挙がる。「日本語でできない人が多い行動」については、「医療・福祉」や「職場」、「緊急事態」など、日常生活とは少し離れたもの、人によって経験する機会が多くないものが上位に挙がっている。

「日本語でできるようになりたい人が多い行動」では、「緊急事態」や「医療・福祉」など、頻度は低いが重要度が高い項目が上位に挙がっている。同時に行動22や27のように、「交通手段」の場面であり、日々の生活に密着しているが、まだ十分にできないために、ニーズが高い行動もある。また、「緊急事態」はもちろんのこと、「医療・福祉」

5.2 「読む能力」による違い

日本語能力(自己評価)によって、日本語使用実態や日本語学習ニーズが異なるのかどうかを見る。「読む」「書く」「聞く」「話す」のうち、「読む能力」のみを取り上げる。また、能力は「全くできない」から「どんな分野の文章でも読める」までの6段階を設けたが、ここでは、回答者数が多い「ひらがなとカタカナが読める」「やさしい漢字が読める」「身近な文章が読める」を取り上げる。(表中では、言語行動の表現を簡略化)

5.2.1 言語によらず、頻度の高い行動

「ひらがなとカタカナが読める」レベル		「やさしい漢字が読める」レベル		「身近な文章が読める」レベル	
1	60 家族・友人と会話	1	60 家族・友人と会話	1	60 家族・友人と会話
2	65 TV・ラジオでニュース見聞き	2	65 TV・ラジオでニュース見聞き	2	65 TV・ラジオでニュース見聞き
3	64 家族・友人にパソコンメール	3	61 自宅への電話対応	3	8 表示を見る, 店員に質問(探しもの)
4	61 自宅への電話対応	4	8 表示を見る, 店員に質問(探しもの)	4	61 自宅への電話対応
5	63 家族・友人と携帯メール	5	64 家族・友人にパソコンメール	5	63 家族・友人と携帯メール
6	8 表示を見る, 店員に質問(探しもの)	6	63 家族・友人と携帯メール	6	64 家族・友人にパソコンメール
7	67 訪問者への対応	7	19 券売機で乗車券購入	7	4 メニューを読んで注文
8	19 券売機で乗車券購入	8	21 路線図・時刻表を読む	8	11 ポイントカード・割引券利用
9	11 ポイントカード・割引券利用	9	4 メニューを読んで注文	9	19 券売機で乗車券購入
10	4 メニューを読んで注文	10	11 ポイントカード・割引券利用	10	21 路線図・時刻表を読む

5.2.2 日本語でできない人が多い行動

「ひらがなとカタカナが読める」レベル		「やさしい漢字が読める」レベル		「身近な文章が読める」レベル	
1	66 新聞を読む	1	55 介護認定申請・手続き	1	55 介護認定申請・手続き
2	35 ネットで部屋探し	2	53 年金の申し込み・問い合わせ	2	54 役所で介護に関する相談
3	89 パソコンで、適職検索	3	54 役所で介護に関する相談	3	53 年金の申し込み・問い合わせ
4	17 通信販売での返品・交換	4	66 新聞を読む	4	101 プレゼンテーションする
5	38 契約書に記入する	5	101 プレゼンテーションする	5	103 取引先等とのコミュニケーション
	57 緊急時、保険会社に連絡	6	57 緊急時、保険会社に連絡	6	72 自治会などで意見交換
	39 引越し手続き(電気・ネット・住所変更)	7	32 定期預金・ローン申し込み	7	57 緊急時、保険会社に連絡
7	54 役所で介護に関する相談	8	89 パソコンで、適職検索	8	32 定期預金・ローン申し込み
	72 自治会などで意見交換	9	103 取引先等とのコミュニケーション	9	81 他の保護者に電話連絡
	88 労働契約書を読んで確認	10	38 契約書に記入する	10	80 保護者会でのやりとり

5.2.3 日本語でできるようになりたい人が多い行動

「ひらがなとカタカナが読める」レベル		「やさしい漢字が読める」レベル		「身近な文章が読める」レベル	
1	56 火災・救急・警察に電話	1	22 駅等アナウンスの理解	1	56 火災・救急・警察に電話
2	22 駅等アナウンスの理解		56 火災・救急・警察に電話	2	28 ATMで引出, 振込, 支払
3	59 テレビ等から災害情報入手	3	47 適切な病院・医院探し	3	49 医師・看護師とのやりとり
4	7 折り込み広告の値段比較	4	27 行き方を人に説明		50 薬に関する説明を聞く
5	21 路線図・時刻表を読む	5	49 医師・看護師とのやりとり	5	9 表示を見る, 店員に質問(商品理解)
6	27 行き方を人に説明	6	59 テレビ等から災害情報入手	6	47 適切な病院・医院探し
7	58 災害・事故時に助けを求める	7	4 メニューを読んで注文	7	10 商品の表示を読む
8	24 タクシーを電話で呼ぶ	8	9 表示を見る, 店員に質問(商品理解)	8	58 災害・事故時に助けを求める
9	25 タクシー運転手とのやりとり		51 薬の飲み方等を読み取る	9	30 窓口で引出, 振込, 支払
10	65 TV・ラジオでニュース見聞き	10	61 自宅への電話対応	10	65 TV・ラジオでニュース見聞き

場面の、生きていく上での切実な項目が上位を占めている。

「読む能力」による違いを見ると、「新聞を読む」ことが日本語でできないと答える人が、日本語能力のレベルに応じて1位→4位→順位外と変わっている。また、「やさしい漢字が読める」レベルと「身近な文章が読める」レベルで、上位10位に挙がるものの重なりが多く、「身近な文章が読める」程度になっても、介護に関わること、プレゼンテーション、自治会や保護者会に関わることなど、複合的かつ複雑な能力が求められるものについてはできない場合が多いことがわかる。

「日本語でできるようになりたい」では、「火災・救急・警察に電話」が全てにおいて上位に挙がっており、「身近な文章が読める」レベルでも、依然、こういった緊急事態への対応方法を知らないことが推察される。

<参考> 言語行動(105項目)集計結果:ニーズ順

※頻度は「今はしない=0, 頻度1=1, 頻度2=2, 頻度3=3, 頻度4=4, 頻度5=5」として計算し, 無回答はカウントしていない。

※場面毎に色づけ。

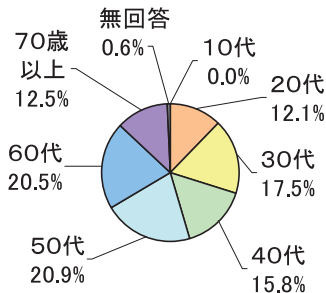
頻度順	日本語可否順	ニーズ順	項目番号	言語行動(105項目)	頻度(平均値)	日本語でできない人(%)	日本語でできるようになりたい人の比率(%)	場面
88	63	1	Q56	火災・救急(119)や警察(110)に電話する	1.257	43.44	94.32	8緊急事態
20	60	2	Q22	駅の構内やバスの車内アナウンスを理解する	2.576	43.80	92.31	3交通手段
79	67	3	Q58	災害・事故時に他の人に助けを求める	1.482	42.18	92.15	8緊急事態
28	64	4	Q50	出された薬に関する説明(種類や効能, 飲み方など)を聞く	2.431	43.14	91.91	7医療・福祉
40	73	5	Q59	テレビやラジオから災害情報を得る	2.178	40.49	91.53	8緊急事態
30	57	6	Q49	診察のときに, 医師や看護師とやりとりをする	2.355	44.65	91.51	7医療・福祉
2	75	7	Q65	テレビやラジオでニュースを見聞きする	3.365	39.41	91.45	9自宅
44	47	8	Q27	目的地までの行き方を人に説明する	2.108	47.89	91.21	3交通手段
39	58	9	Q47	症状に合わせて, 適切な病院・医院を探す	2.186	44.22	90.75	7医療・福祉
15	77	10	Q9	商品の機能や値段を知るために, 店頭の表示を読んだり, 店員に質問したりする	2.769	37.73	90.43	2買い物
27	86	11	Q30	銀行や郵便局の窓口で現金引出, 振込, 公共料金の支払いなどをする	2.431	35.38	90.31	4金融機関等
16	87	12	Q28	現金自動支払機(ATM)で現金の引出, 振込, 公共料金の支払いなどをする	2.760	33.45	90.29	4金融機関等
18	89	13	Q51	薬の説明書きから飲み方(1日3回毎食後など)や使い方を読み取る	2.665	31.89	90.19	7医療・福祉
8	94	14	Q4	メニューを読んで注文する	2.960	29.90	90.14	1飲食店
10	83	15	Q67	訪問者に対応する	2.839	35.86	89.77	9自宅
43	50	16	Q48	初診の受付をして, 問診表を記入する	2.116	46.93	89.62	7医療・福祉
41	8	17	Q66	新聞を読む	2.165	60.11	89.59	9自宅
13	65	18	Q10	商品の表示(衣服の素材, 食品の材料等)を読む	2.801	42.48	89.52	2買い物
21	97	19	Q23	電車やバスの乗務員や他の乗客に, 停車駅や乗り換えを確認する	2.566	29.18	89.28	3交通手段
25	72	20	Q26	家の表札, 近隣の地名や番地, 交差点名, 街の案内地図などを読む	2.491	41.22	89.20	3交通手段
34	85	21	Q25	タクシー運転手と, 行き先や行き方などについてやりとりする	2.225	35.44	88.96	3交通手段
14	93	22	Q7	折り込み広告を見て, 値段を比べる	2.775	29.96	88.76	2買い物
11	99	23	Q21	駅やバス停で路線図や時刻表を読む	2.837	28.28	88.72	3交通手段
59	30	24	Q46	公共の防犯・防災等に関するアナウンスを聞く	1.786	54.45	88.62	6役所・公共
56	69	25	Q24	タクシーを電話で呼ぶ	1.861	41.70	88.60	3交通手段
32	82	26	Q33	記入シートに必要事項を書き込み, 書留や小包, 宅配便などを送る	2.322	36.52	88.47	4金融機関等
35	101	27	Q68	近隣に引越しの挨拶をする	2.214	27.56	88.43	10地域交流
98	5	28	Q57	緊急時, 保険会社に連絡して相談する	1.081	60.95	88.35	8緊急事態
50	36	29	Q99	書類を読む	2.044	52.29	88.03	14職場
17	104	30	Q18	駅の窓口で乗車券を書く	2.737	21.00	87.97	3交通手段
51	66	31	Q31	銀行や郵便局の窓口で海外送金をする	1.973	42.30	87.91	4金融機関等
24	44	32	Q13	店内アナウンスを聞いて理解する	2.495	50.12	87.88	2買い物
33	55	33	Q70	回覧板・掲示板を読む	2.229	45.37	87.80	10地域交流
63	51	34	Q1	電話やインターネットで店を予約する	1.719	46.69	87.76	1飲食店
23	96	35	Q69	近隣の人と家の周辺で挨拶や世間話をする	2.515	29.48	87.76	10地域交流
26	80	36	Q96	指示を理解して, 適切な行動をとる	2.473	36.76	87.73	14職場
3	91	37	Q61	自宅にかかってきた電話に対応する	3.215	30.69	87.65	9自宅
7	105	38	Q19	駅の券売機で乗車券を買う	2.987	20.88	87.61	3交通手段
36	53	39	Q5	店員に料理の材料について質問したり, 希望を伝えたりする	2.203	46.39	87.55	1飲食店
5	102	40	Q8	ほしいものの場所を探すために, 店内の表示を見たり, 店員にたずねたりする	3.078	23.95	87.19	2買い物
42	68	41	Q98	電話に対応する	2.144	42.12	87.14	14職場
19	88	42	Q74	日本語教室や国際交流のイベントに参加する	2.651	32.25	86.75	10地域交流
49	78	43	Q12	品物の返品や交換をする	2.067	37.67	86.74	2買い物
45	71	44	Q29	窓口で新しく口座を開設する	2.100	41.40	86.63	4金融機関等
46	79	45	Q93	給与明細を見て不明な点について尋ねる	2.096	37.30	86.61	14職場
22	81	46	Q97	職場の人と仕事を進めるためにコミュニケーションする	2.551	36.64	86.54	14職場
60	45	47	Q6	出前用のメニューを見て電話注文する	1.773	49.52	86.39	1飲食店

52	48	48	Q91	就業規則を読み、わからないことを質問する	1.951	47.83	86.29	14職場
54	43	49	Q34	不在配達通知を見て、自動音声案内に従って再配達依頼の電話をする	1.941	50.18	86.21	4金融機関等
53	46	50	Q104	職場の表示や注意書きを読む	1.945	48.74	85.93	14職場
29	70	51	Q62	留守番電話のメッセージを聞いたり、留守番電話にメッセージを入れたりする	2.420	41.64	85.84	9自宅
78	23	52	Q40	国民健康保険の加入手続きをする	1.520	56.08	85.73	6役所・公共
70	31	53	Q15	ほしい物を電話で注文する	1.596	54.39	85.62	2買い物
55	62	54	Q71	地域の清掃、防災訓練、お祭りなどに参加する	1.900	43.44	85.46	10地域交流
12	103	55	Q2	店で人数、禁煙喫煙、店内飲食か持ち帰りかなどの希望を伝える	2.812	22.62	85.37	1飲食店
1	92	56	Q60	家族や友人と会話をする	3.751	30.57	85.24	9自宅
9	95	57	Q11	ポイントカードや割引券を利用する	2.898	29.48	85.10	2買い物
65	29	58	Q105	作業の進め方等について改善のための提案や相談をする	1.706	55.35	85.00	14職場
72	28	59	Q45	市報・区報の、予防接種や健康診断などについてのお知らせを読む	1.546	55.42	84.91	6役所・公共
69	21	60	Q16	ほしい物をFAXやネットで注文する	1.606	56.32	84.83	2買い物
66	17	61	Q100	日報や報告書を書く	1.662	57.82	84.81	14職場
84	13	62	Q39	引越しの手続きをする(電気・ガス・インターネット、電話・各種住所変更)	1.296	58.30	84.73	5住居
68	22	63	Q102	会議に出席し、意見交換する	1.621	56.26	84.60	14職場
81	4	64	Q101	プレゼンテーションをする	1.400	62.09	84.30	14職場
47	90	65	Q94	94休暇を口頭で願い出る、休暇届を出す	2.075	31.05	84.30	14職場
67	19	66	Q88	労働契約書を読んで確認する	1.642	56.74	84.20	13求職
71	38	67	Q76	カルチャースクールや職業訓練校など、学習のための機会や場所を探す	1.557	51.87	84.11	11学習・余暇
4	59	68	Q64	家族や友人にパソコンでメールを書く	3.126	43.98	83.99	9自宅
48	74	69	Q75	地域の施設(図書館、児童館、スポーツ施設等)のサービスを利用する	2.070	40.19	83.68	11学習・余暇
61	49	70	Q43	役所や国際交流協会に、日本語教室や交流イベント等について問い合わせをする	1.729	47.47	83.65	6役所・公共
37	84	71	Q95	職場の行事(歓送迎会、運動会等)に参加し、親睦を深める	2.201	35.50	83.56	14職場
38	98	72	Q92	欠勤・遅刻・早退の連絡をする	2.197	28.88	83.13	14職場
86	15	73	Q38	契約書に記入する	1.281	57.88	82.95	5住居
31	100	74	Q3	食券を買う	2.325	27.80	82.90	1飲食店
76	35	75	Q52	乳幼児健診や無料がん検診の通知を読む(日時や持ち物など、必要事項の把握)	1.534	52.59	82.84	7医療・福祉
87	14	76	Q17	通信販売で買った品物の返品や交換をする	1.259	58.00	82.78	2買い物
6	76	77	Q63	家族や友人と携帯でメールのやりとりをする	3.063	37.85	82.51	9自宅
74	61	78	Q44	外国人相談窓口を利用する	1.543	43.62	82.07	6役所・公共
82	9	79	Q103	取引先や顧客と仕事上のコミュニケーションをする	1.367	59.63	81.84	14職場
64	56	80	Q20	駅の券売機で電子マネーにチャージする	1.707	44.71	81.83	3交通手段
57	42	81	Q84	求人広告を読み、条件を検討する	1.859	50.24	81.68	13求職
77	33	82	Q86	人事担当者に電話で問い合わせをする	1.520	54.09	81.65	13求職
96	7	83	Q32	銀行や郵便局の窓口で定期預金や各種ローンを申し込む	1.115	60.71	81.07	4金融機関等
75	41	84	Q14	ドライブスルーで買い物する	1.540	51.08	80.92	2買い物
93	34	85	Q73	近所の人に苦情を言ったり、言われた苦情に対処したりする	1.150	53.61	80.81	10地域交流
58	39	86	Q85	履歴書を書く	1.832	51.20	80.49	13求職
85	18	87	Q90	求職申込書や人材登録用紙に必要事項を記入し、求職相談をする	1.288	57.28	80.25	13求職
62	52	88	Q87	就職面接を受ける	1.722	46.51	80.08	13求職
73	54	89	Q37	間取り図を読む	1.544	46.39	80.03	5住居
97	6	90	Q72	自治会などの集会で意見交換する	1.106	60.77	79.60	10地域交流
94	20	91	Q36	不動産屋に相談する	1.136	56.74	79.43	5住居
99	12	92	Q35	ネットで部屋を探す	1.063	58.42	78.99	5住居
89	10	93	Q89	ハローワーク等でパソコンを使って、適当な職があるか検索する	1.198	59.09	78.82	13求職
101	3	94	Q53	年金の申し込みや問い合わせをする	0.976	63.00	78.13	7医療・福祉
102	11	95	Q41	役所で子どもの小学校や中学校への編入学を相談し、申し込む	0.966	58.66	76.82	6役所・公共
80	37	96	Q77	学校や園からの配布物や連絡ノートを読み、必要に応じて持ち物を準備する	1.440	52.23	76.38	12保・幼・小中
105	1	97	Q55	介護認定の申請をし、必要な手続きをとる	0.764	64.08	75.96	7医療・福祉
104	2	98	Q54	役所の福祉課にデイサービス等、介護に関することについて相談する	0.769	63.90	75.14	7医療・福祉
103	16	99	Q42	役所で保育園・学童保育の申請手続きをする	0.946	57.88	74.95	6役所・公共
90	25	100	Q78	先生からの連絡ノートに返事や子どもの様子などを書く	1.189	56.02	74.76	12保・幼・小中
92	32	101	Q82	子どもの宿題を手伝う	1.175	54.21	74.47	12保・幼・小中
91	27	102	Q83	子どもの進路を決めるための情報を集める	1.178	55.90	74.17	12保・幼・小中
83	40	103	Q79	先生に口頭で子どもについて相談する	1.300	51.20	73.56	12保・幼・小中
95	24	104	Q80	保護者会(PTA等)に参加し、先生の話や子どもの話を聞いたり、他の保護者と意見交換をする	1.130	56.08	73.50	12保・幼・小中
100	26	105	Q81	連絡網に沿って、他の保護者に電話連絡をする	1.002	56.02	73.36	12保・幼・小中

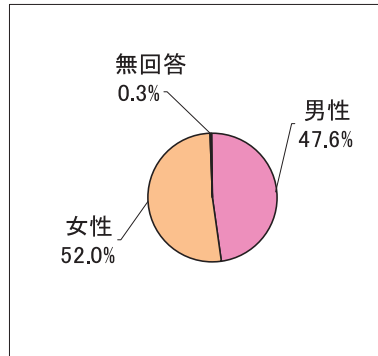
日本人調査：結果概要

1. 回答者について

1.1. 年齢



1.2 性別



日本人調査に関しては、層化二段無作為抽出法により、配布をおこなったため、年齢・性別についてはバランスよくデータが取得できている。平成17年の国勢調査では、人口に占める女性比率は約51.2%であるため、やや女性が多くなっているが、概ね比率通りと言ってよい。

1.3. 日本語以外で日常生活に困らない言語（上位5言語）（複数回答可）

	言語	人数 (%)
1	英語	302 (25.7%)
2	韓国・朝鮮語	24 (2.0%)
3	中国語	20 (1.7%)
4	フランス語	18 (1.5%)
5	スペイン語	8 (0.7%)

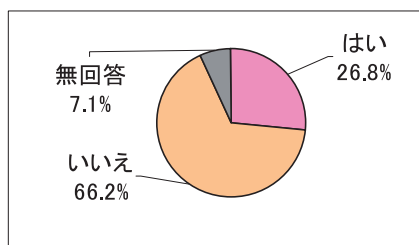
日本語以外で日常生活に困らない言語については、自己申告かつ複数回答可で答えてもらった。英語が25.7%となっており、予想以上に高い比率である。日本人調査は、5,000通を郵送し、そのうち1,176通を回収したものであり、回答をしてくれた人が、言語に関して意識の高い人に集中している可能性があることには留意しておきたい。また、無回答が866人である。

1.4. 家庭の中で使っている主な言語（上位5言語）（複数回答可）

	言語	人数 (%)
1	日本語	1037 (88.2%)
2	英語	193 (16.4%)
3	中国語	28 (2.4%)
4	韓国・朝鮮語	26 (2.2%)
5	フランス語	13 (1.1%)

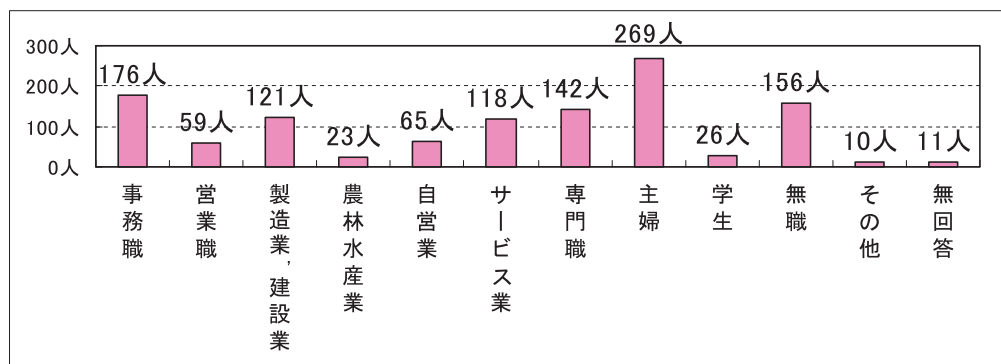
家庭の中で使っている主な言語については、自己申告かつ複数回答可で答えてもらった。日本語が88.2%となっており、無作為に送付したにも関わらず、予想よりも低い比率である。質問方法に問題があった可能性もある。しかし、英語が16.4%であり、中国語や韓国・朝鮮語など他の言語も挙がっていることを考えると、日本語を家庭内の言語としない人が現代の日本社会に少なくないことも考えられる。

1.5. 子供の有無



15歳以下の子どもがあると答えた人が26.8%と、外国人調査の36.9%よりも低い結果となった。日本は少子化傾向にあり、平成17年国勢調査では、15歳以下の人口は全体の約15.8%に過ぎないため、これを反映した数字だと考えられる。

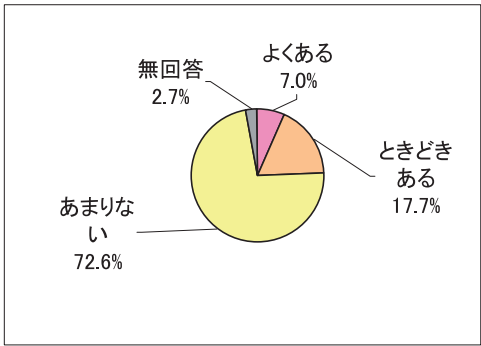
1.6. 職業



主婦が最も多く、事務職、無職、専門職がそれに続く。層化二段無作為抽出法により、配布をおこなったため、基本的にバランスはよい。

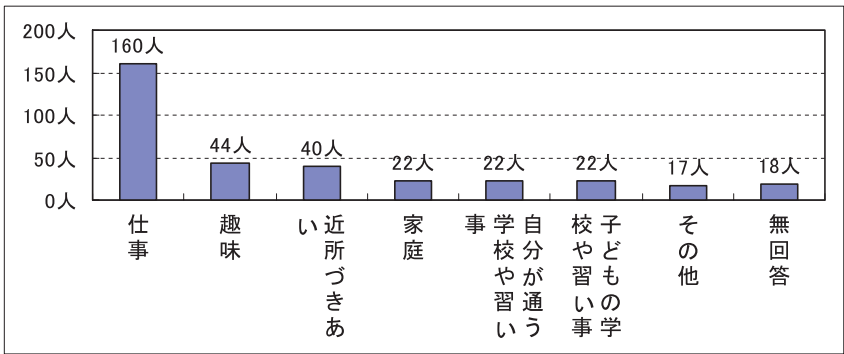
2. 外国人との接触について

2.1. 頻度



日常生活において、外国人との接触があるかどうかをたずねた。「よくある」と「ときどきある」が全体の約4分の1を占めた。質問紙配布先を全国から無作為に抽出し、得られた結果であるにも関わらず、4分の1の日本人が外国人との接触があると答えており、現代の日本では、外国人との接触が特別なことではなくなったことを表している。多文化共生社会への対応は喫緊の課題であろう。もちろん、今回の調査のテーマに関心の高い人が回答を寄せた可能性も否定できない。

2.2. 場面（複数回答可）



外国人と接触する場面について、複数回答可で答えてもらった。「仕事」が最も多く、「趣味」や「近所づきあい」などはほぼ同数で並んでいる。「仕事」については、いわゆるビジネス場面に限らず、工場などの現場での接触も含まれていると思われる。

3. 外国人との日本語の使用実態

34の言語項目(9場面)について、言語によらず接触頻度の高いもの、日本語で行うもの、日本語で行う際に困難なもの、について上位5位までを挙げる。表中の色分けは、場面の違いを表している。

3.1. 頻度(上位5位)

<全体>

	言語行動	接触頻度	場面
1	31外国人の客, 患者, 生徒等とやりとりする	0.868	9仕事
2	28子どもについて, 外国人の教師とやりとりする	0.556	8子供の学校
3	13身近な外国人(家族, 恋人, 友人など)と会話をする	0.541	5自宅
4	32外国人の同僚・部下とやりとりする	0.521	9仕事
5	08道で, 目的地までの行き方を外国人に説明する	0.450	3交通

外国人との日本語の使用実態については、全体での結果と職業別の結果について、両方の上位5位を示す。職業別については、「有職者」と「主婦」、「学生」に焦点を当てた。

<職業別>

有職者

	言語行動	接触頻度	場面
1	31外国人の客, 患者, 生徒等とやりとりする	0.862	9仕事
2	13身近な外国人(家族, 恋人, 友人など)と会話をする	0.634	5自宅
3	08道で, 目的地までの行き方を外国人に説明する	0.521	3交通
4	32外国人の同僚・部下とやりとりする	0.519	9仕事
5	28子どもについて, 外国人の教師とやりとりする	0.514	8子供の学校

「頻度」については、全体、職業別にかかわらず「身近な外国人(家族, 恋人, 友人など)と会話する」や「道で, 目的地までの行き方を外国人に説明する」などが上位に挙げられた。職業別でも基本的に似た傾向を示すが、主婦においては「子どもについて, 外国人の教師とやりとりする」が突出した。学校のALTや英語塾の教師などとのやりとりがあることが推察される。

主婦

	言語行動	接触頻度	場面
1	28子どもについて, 外国人の教師とやりとりする	0.644	8子供の学校
2	19近所に住む外国人と家の周辺で挨拶や世間話をする	0.443	6地域交流
3	13身近な外国人(家族, 恋人, 友人など)と会話をする	0.422	5自宅
4	06電車やバスの中で, 外国人の乗客に停車駅や乗り換えを説明する	0.294	3交通
5	08道で, 目的地までの行き方を外国人に説明する	0.284	3交通

学生

	言語行動	接触頻度	場面
1	13身近な外国人(家族、恋人、友人など)と会話をする	1.000	5自宅
2	08道で、目的地までの行き方を外国人に説明する	0.846	3交通
3	06電車やバスの中で、外国人の乗客に停車駅や乗り換えを説明する	0.769	3交通
4	23自分が通う学校やカルチャースクールで、外国人教師等とやりとりする	0.731	7教育・余暇
5	03ほしい物の場所や商品について、外国人従業員にたずねる	0.692	2買い物

学生については、全体的傾向に比べて全ての項目で接触頻度の値が高く、特に「自分が通う学校やカルチャースクールで、外国人教師等とやりとりする」が上位に挙げられているのが特徴的である。

3.2. 日本語のみで行なうかどうか(上位5位)

<全体>

	言語行動	日本語のみで行なう人(%)	場面
1	01飲食店へ電話し、出前や予約のために外国人従業員とやりとりをする。	80.8	1飲食店
2	10病院で、外国人医師や外国人看護師とやりとりをする	76.9	4医療・トラブル
3	02飲食店で注文するとき、外国人従業員と料理の材料等について、やりとりする	76.5	1飲食店
4	29保護者会(PTA等)に参加し、外国人教師の話を聞いたり、外国人保護者と意見交換をする	75	8子供の学校
5	30連絡網に沿って、外国人保護者に電話連絡をする	71.4	8子供の学校

<職業別>

有職者

	言語行動	日本語のみで行なう人(%)	場面
1	02飲食店で注文するとき、外国人従業員と料理の材料等について、やりとりする	82.432	1飲食店
2	01飲食店へ電話し、出前や予約のために外国人従業員とやりとりをする。	82.353	1飲食店
3	04ドライブスルーで、外国人従業員に向けて、注文をする	82.143	2買い物
4	03ほしい物の場所や商品について、外国人従業員にたずねる	72.222	2買い物
5	05電話で、外国人従業員に商品の注文・問い合わせをする(サポートセンターを含む)	72.093	2買い物

主婦

	言語行動	日本語のみで行なう人(%)	場面
1	04ドライブスルーで、外国人従業員に向けて、注文をする	100	2買い物
2	24自分が通う学校やカルチャースクールで、外国人の同級生等とやりとりする	100	7教育・余暇
3	01飲食店へ電話し、出前や予約のために外国人従業員とやりとりをする。	86.667	1飲食店
4	10病院で、外国人医師や外国人看護師とやりとりをする	85.714	4医療・トラブル
5	29保護者会(PTA等)に参加し、外国人教師の話を聞いたり、外国人保護者と意見交換をする	83.333	8子供の学校

日本語のみで行うかどうかについては、「飲食店」や「買い物」の項目が上位に挙がってくる。日本人が顧客である場合、日本語のみでサービスを受けるのが一般的であるという状況を示唆している。

「子供の学校」場面で、「外国人教師」とのやりとりは下位に位置するが、逆に「外国人保護者」が含まれるものは上位となる。外国人保護者の場合は、同じ親同士として日本語でやりとりをすることが多くなるようである。これには、外国人保護者の方が、外国人教師よりも日本での生活に根ざしており、日本語能力も高めである可能性がある、といった要因が働いていることが推測される。

学生

	言語行動	日本語のみで行なう人(%)	場面
1	22近所に住む外国人に苦情を言ったり, 言われた苦情に対処したりする	83.333	6地域交流
2	16身近な外国人(家族, 恋人, 友人など)と携帯電話でメールのやりとりをする	75.000	5自宅
3	01飲食店へ電話し, 出前や予約のために外国人従業員とやりとりをする。	71.429	1飲食店
4	05電話で, 外国人従業員に商品の注文・問い合わせをする(サポートセンターを含む)	66.667	2買い物
5	24自分が通う学校やカルチャースクールで, 外国人の同級生等とやりとりする	57.143	7教育・余暇

学生については, 全体的傾向と一転して「近所に住む外国人に苦情を言ったり, 言われた苦情に対処したりする」が1位になっており, トラブルの対応の際は, 日本語を使用しているようである。

3.3. 日本語での困難度(上位5位)

<全体>

	言語行動	日本語での困難度	場面
1	09道で, 外国人から, 目的地までの行き方を教えてもらう	2.043	3交通
2	08道で, 目的地までの行き方を外国人に説明する	2.011	3交通
3	06電車やバスの中で, 外国人の乗客に停車駅や乗り換えを説明する	1.978	3交通
4	12助けを求めている外国人を助ける	1.966	4医療・トラブル
5	31外国人の客, 患者, 生徒等とやりとりする	1.894	9仕事

<職業別>

有職者

	言語行動	日本語での困難度	場面
1	06電車やバスの中で, 外国人の乗客に停車駅や乗り換えを説明する	2.007	3交通
2	08道で, 目的地までの行き方を外国人に説明する	2.005	3交通
3	12助けを求めている外国人を助ける	2.036	4医療・トラブル
4	07電車やバスの中で, 外国人の乗客から停車駅や乗り換えを教えてもらう	1.875	3交通
5	31外国人の客, 患者, 生徒等とやりとりする	1.898	9仕事

主婦

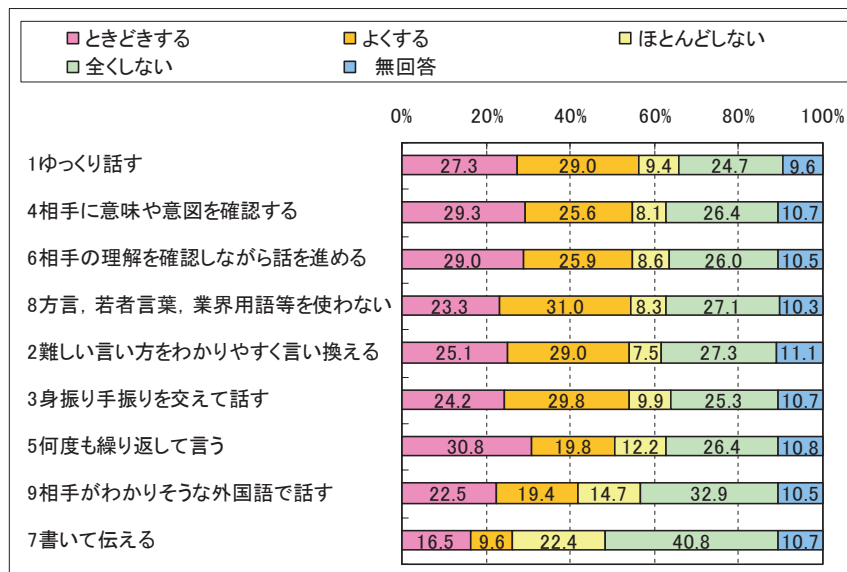
	言語行動	日本語での困難度	場面
1	09道で, 外国人から, 目的地までの行き方を教えてもらう	3.00	3交通
2	08道で, 目的地までの行き方を外国人に説明する	2.10	3交通
3	07電車やバスの中で, 外国人の乗客から停車駅や乗り換えを教えてもらう	2.00	3交通
3	25ホームステイなどを通して, 外国人留学生と交流する	2.00	7教育・余暇
3	11困った時や助けが必要な時に, 周囲の外国人に助けを求める	2.00	4医療・トラブル
3	05電話で, 外国人従業員に商品の注文・問い合わせをする(サポートセンターを含む)	2.00	2買い物

学生

	言語行動	日本語での困難度	場面
1	25ホームステイなどを通して, 外国人留学生と交流する	2.000	7教育・余暇
1	11困った時や助けが必要な時に, 周囲の外国人に助けを求める	2.000	4医療・トラブル
1	06電車やバスの中で, 外国人の乗客に停車駅や乗り換えを説明する	2.000	3交通
4	08道で, 目的地までの行き方を外国人に説明する	1.833	3交通
5	05電話で, 外国人従業員に商品の注文・問い合わせをする(サポートセンターを含む)	1.667	2買い物

日本語での困難度については, 全体での結果も, 職業別の結果も「交通」場面が圧倒的に多くなっている。これは, (2)の「日本語のみで行うかどうか」にある「飲食店」や「買い物」などは, 話の流れも大体予測でき, サービスの提供側である外国人の日本語力が高いことが想定されるのに対し, 「交通」に関するものは, 相手の知識や日本語能力をやりとりをしながら把握し, それに応じた会話をしなくてはならない必要があることが影響していると思われる。「医療・トラブル」の「助けを求めている外国人を助ける」「困った時や助けが必要な時に, 周囲の外国人に助けを求める」や「主婦」の「教育・余暇」の「ホームステイなどを通して, 外国人留学生と交流する」が挙げられているのも同様の理由が考えられる。

4. 外国人とのコミュニケーションにおける工夫 ＜ことばに関する工夫＞



9つの中で、すると答えた人が最も多い（「よくする」と「ときどきする」）のは、「ゆっくり話す」であり、逆に目立って少ないのは、「書いて伝える」である。「相手がわかる言語で話す」「書いて伝える」以外の項目で半数を超える人が「する」と答えた。逆に、こういった工夫を「しない」（「ほとんどしない」と「しない」）と答える人がどの項目も3割以上いる。

「相手がわかる言語で話す」は能力的に難しい場合も多いが、「書いて伝える」は誰でも取り得る手段である。それにも関わらず、あまり選択されてはいない。

＜参考＞言語行動(34項目)集計結果

言語行動	頻度 平均値	日本語で行うか (%)			困難度 平均値	場面
		日本語 のみ	日本語 か 外国語	外国語 のみ		
01 飲食店へ電話し、出前や予約のために外国人従業員とやりとりをする。	0.208	80.8	16.7	0.8	1.575	1飲食店
02 飲食店で注文するとき、外国人従業員と料理の材料等について、やりとりする	0.412	76.5	17.3	1.3	1.450	1飲食店
03 ほしい物の場所や商品について、外国人従業員にたずねる	0.287	66.3	29.4	2.7	1.488	2買い物
04 ドライブスルーで、外国人従業員に向けて、注文をする	0.071	60.0	24.4	4.4	1.351	2買い物
05 電話で、外国人従業員に商品の注文・問い合わせをする(サポートセンターを含む)	0.088	63.9	23.0	6.6	1.569	2買い物
06 電車やバスの中で、外国人の乗客に停車駅や乗り換えを説明する	0.377	20.5	59.2	16.4	1.978	3交通
07 電車やバスの中で、外国人の乗客から停車駅や乗り換えを教えてもらう	0.044	34.3	51.4	11.4	1.800	3交通
08 道で、目的地までの行き方を外国人に説明する	0.450	19.7	60.8	14.7	2.011	3交通
09 道で、外国人から、目的地までの行き方を教えてもらう	0.035	29.6	55.6	7.4	2.043	3交通
10 病院で、外国人医師や外国人看護師とやりとりをする	0.043	76.9	19.2	0.0	1.333	4医療・トラブル
11 困った時や助けが必要な時に、周囲の外国人に助けを求める	0.048	44.4	44.4	7.4	1.864	4医療・トラブル
12 助けを求めている外国人を助ける	0.145	19.8	62.8	14.9	1.966	4医療・トラブル
13 身近な外国人(家族、恋人、友人など)と会話をする	0.541	43.4	40.3	9.0	1.435	5自宅
14 外国人からの電話に対応する	0.275	27.9	40.4	25.7	1.629	5自宅
15 外国人からの、留守番電話のメッセージを聞いたり、外国人に対し、留守番電話にメッセージを入れたりする	0.123	15.8	49.1	31.6	1.571	5自宅
16 身近な外国人(家族、恋人、友人など)と携帯電話でメールのやりとりをする	0.171	30.9	38.2	19.1	1.304	5自宅
17 身近な外国人(家族、恋人、友人など)に対して、パソコンでメールを書く	0.191	13.1	38.1	36.9	1.419	5自宅
18 外国人の訪問者に対応する	0.238	35.6	45.6	12.1	1.716	5自宅
19 近所に住む外国人と家の周辺で挨拶や世間話をする	0.382	62.4	26.5	2.2	1.278	6地域交流
20 地域の清掃、防災訓練、お祭りなどで、外国人とやりとりする	0.172	55.6	35.0	1.7	1.364	6地域交流
21 自治会などの集会で、外国人と意見交換する	0.061	62.9	22.9	0.0	1.393	6地域交流
22 近所に住む外国人に苦情を言ったり、言われた苦情に対処したりする	0.042	65.4	26.9	0.0	1.545	6地域交流
23 自分が通う学校やカルチャースクールで、外国人教師等とやりとりする	0.153	22.0	49.2	16.9	1.487	7教育・余暇
24 自分が通う学校やカルチャースクールで、外国人の同級生等とやりとりする	0.051	50.0	45.5	0.0	1.300	7教育・余暇
25 ホームステイなどを通して、外国人留学生と交流する	0.042	14.3	48.6	20.0	1.864	7教育・余暇
26 イベントの問い合わせを国際交流協会等にし、外国人とやりとりする	0.051	25.0	50.0	8.3	1.600	7教育・余暇
27 イベントで、外国人とやりとりする	0.134	25.8	52.7	12.9	1.632	7教育・余暇
28 子どもについて、外国人の教師とやりとりする	0.556	22.8	50.9	21.1	1.368	8子供の学校
29 保護者会(PTA等)に参加し、外国人教師の話の聞いたり、外国人保護者と意見交換をする	0.160	75.0	20.8	4.2	1.318	8子供の学校
30 連絡網に沿って、外国人保護者に電話連絡をする	0.092	71.4	21.4	0.0	1.462	8子供の学校
31 外国人の客、患者、生徒等とやりとりする	0.868	38.8	44.9	9.8	1.894	9仕事
32 外国人の同僚・部下とやりとりする	0.521	44.4	38.3	12.3	1.484	9仕事
33 外国人の上司とやりとりする	0.076	28.6	50.0	21.4	1.700	9仕事
34 取引先の外国人とやりとりする	0.273	25.4	47.9	25.4	1.820	9仕事